

溶接技能者評価試験の受験上の注意

(技能実習生のための評価試験)

溶接作業中は安全作業に徹し、災害のないよう注意してください。

学科試験について

1. 筆記用具（えんぴつ、消しゴム）をご持参ください。試験時間は1時間です。
2. 試験中は静かに。カンニング等不正と認められる行為があった場合は即時退場、失格です。

実技試験について

1. **安全服装**で来てください。

遮光面、チップングハンマー、ワイヤーブラシ、ヤスリ、保護具等持参ください。

注意）遮光面をお持ちでない場合、試験は受けられません。

2. **溶接棒、ワイヤーは申請したものを持参してください。**

※SE-50T（1.2mm）で申請された方は会場で用意しています。持参不要。

3. 実技試験は、次の順序で行います。

使用溶接機の選定、溶接開始等、**係員の指示に従ってください。**

①受付→②材料の支給→③開先加工→④仮付け→⑤本溶接
→⑥提出→⑦あとかたづけ（清掃）→⑧終了

※③開先加工は学科受験後でもよい

※④時間割9：00～実技受験者のみ

4. 注意事項

- 1) 溶接を開始（仮付け含む）したら、やり直しは認めません。
- 2) **仮付け後はチェックしてもらうこと。**チェックなしで本溶接をはじめると失格になります。
- 3) 立向試験材において、下進溶接を採用する場合は、必ず係員に申し出てください。

- 4) **禁止事項（違反すると失格になる場合があります）**

① **受験者以外は試験会場区域に立ち入らない。**

② 本溶接の試験前は電流調整のみとし、**練習することはできない。**

③ 治具や作業台には絶対にアークを出さないこと。（調整板を用意しています）

④ 溶接を開始したら、溶接部の欠陥を取り除くためにグラインダー、ヤスリ、タガネ等で切削したり仕上げたりはできない。またアークで流すこともできない。

⑤ 裏側からの溶接はできない。

追記）実習実施者様へ。ワイヤー交換ができるよう、あらかじめ教育をお願いします。